

拝啓 海山の恋い季節 ソワン訪問看護ステーションの
皆様には、いっそうご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは母を看護していただき誠にありがとう
ございました。

母を最後に看護していただいてから1カ月ほど経ち少し
は落ち着きを取り戻したところです。

私どもは初めて在宅緩和ケアをしていただくまで、その
言葉しか聞いたことがなく不安な面も少しありました。母が
病院で検査、入院していくなかで本人の希望を聞きまた
面会も制限されている昨今の状況では家族にとって
一番の選択だと思い頼みました。

当時私どもは、母の痛みが緩和し体を起こしたり
歩いたりご飯も食べられるようになり体力が回復する
きっと明日は今日より良くなる次の治療に進むと信じ

看病にあたっていました。

毎日訪問看護していただいたなかで母を優しく親身にケアして下さい。短い間かもしれませんが忘れることのない様々な思い出ができました。また日々命に向き合っている看護師さんのお言葉もいただき気持ちを強く持つことができました。

本来ならお一人お一人にお礼申し上げるべきところでございますが書中をもちましてバより御礼申し上げます。

このたびの感謝のしるしとしてバばかりの品をお届けします。皆様で召し上がっていただければ幸いです。

今後もし何かあった時にはまた頼りにさせていただきます。たく思います。

大変お忙がしいところだと思いますがソワン訪問

看護ステーションの皆様にはどうぞ自愛下さいませ。

このたびは誠にありがとうございました。 敬具

令和三年六月二十八日

ソワン訪問看護ステーションの皆様